

一本田分陸拾伍町漆段十五代略中 殘定田四十四段十五代 吉野村田五十四段卅代略中

文永八年七月日略署

〔康正二年造内裏段錢并國役引付〕合略中

六貫六百七十五文略中 高喜久鶴殿備中國大井村段錢

〔豐鑑高松〕輝元が知所の國、備中伯耆を境て、西は長門を限れり、備中の國高松といふ城を堅して

守れり、秀吉の軍備中國に望み、すくも塚かは田が城などいふを、時の間に責破りて、高松の城へ

よせ圍ぬ、

〔戸川記下〕一内府公德川家康 御入洛略中 花房助兵衛本知高七千石、備中高松に於被下、

〔備中府志三〕松山。

一國の府中也、大松山たかくそみへて、其前に小松山横をりにせめ、峯に聖廟の社頭有、又湖水の
きよき有、

〔備中兵亂記〕元親謀反之事附藝陣寄來事

爰ニ源家ノ末葉備中ノ守護松山ノ住三村修理進元親先父親ノ亡魂ヲ休メンガ爲ニ、ヨシナキ

謀叛ヲ企ラル、

〔古文書類纂上處分狀〕後深草天皇建長二年關白藤原道家處分狀

總處分 條々事略中

一家地文書庄園事略中 右大臣略中 家領 女院方略中 備中國驛里庄安樂壽院領中略

建長二年十一月 日 愚老在御判

〔龜山院御凶事記〕嘉元三年九月廿三日丁卯依可分進故院御書、早旦著直衣、烏帽 相具御書、御手簡

□□□存日子參御所略中 女院御方自餘御書等兼有御封、以檀紙被立文、悉盛宮蓋中略

莊保